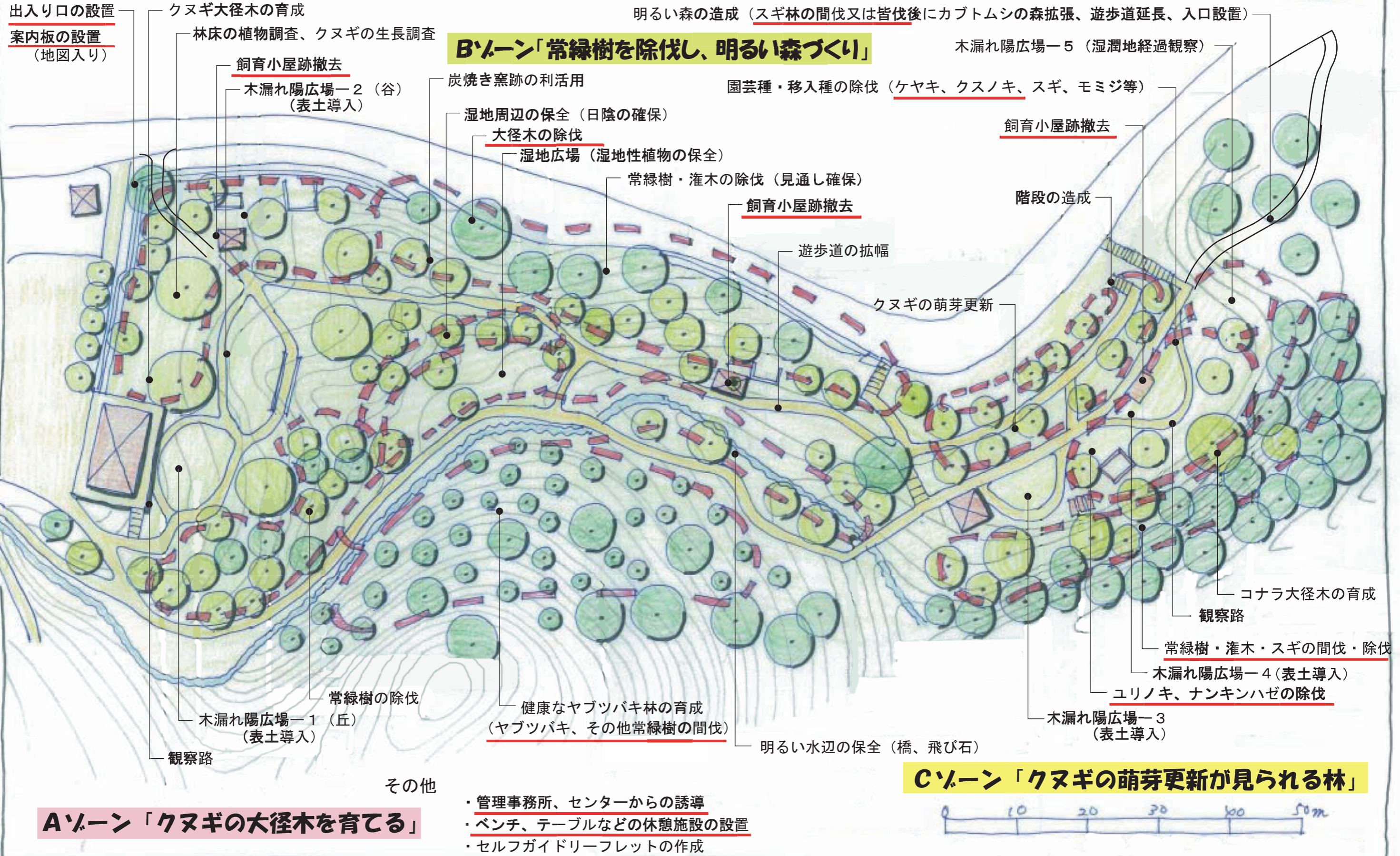


# カブトムシの森 五ヶ年保全計画図 (2014~2018)

基本理念：クヌギを主体とした落葉広葉樹の森(具体的にはクヌギ・コナラを主とした林)を育成、維持し、自然環境を復元する作業を行い、カブトムシに象徴される昆虫や多様な動植物が生息・観察できる森づくりを目指す。



出入り口の設置  
案内板の設置  
(地図入り)

クヌギ大径木の育成  
林床の植物調査、クヌギの生長調査

飼育小屋跡撤去  
木漏れ陽広場-2 (谷)  
(表土導入)

## Bゾーン「常緑樹を除伐し、明るい森づくり」

炭焼き窯跡の利活用  
湿地周辺の保全 (日陰の確保)  
大径木の除伐  
湿地広場 (湿地性植物の保全)  
常緑樹・灌木の除伐 (見通し確保)  
飼育小屋跡撤去

明るい森の造成 (スギ林の間伐又は皆伐後にカブトムシの森拡張、遊歩道延長、入口設置)

木漏れ陽広場-5 (湿潤地経過観察)

園芸種・移入種の除伐 (ケヤキ、クスノキ、スギ、モミジ等)

飼育小屋跡撤去

階段の造成

遊歩道の拡幅

クヌギの萌芽更新

木漏れ陽広場-1 (丘)  
(表土導入)  
観察路

常緑樹の除伐

健康なヤブツバキ林の育成  
(ヤブツバキ、その他常緑樹の間伐)

明るい水辺の保全 (橋、飛び石)

コナラ大径木の育成  
観察路

常緑樹・灌木・スギの間伐・除伐

木漏れ陽広場-4 (表土導入)

ユリノキ、ナンキンハゼの除伐

木漏れ陽広場-3  
(表土導入)

## Aゾーン「クヌギの大径木を育てる」

その他

- ・管理事務所、センターからの誘導
- ・ベンチ、テーブルなどの休憩施設の設置
- ・セルフガイドリーフレットの作成

## Cゾーン「クヌギの萌芽更新が見られる林」



※赤い下線は、管理事務所との協働による。